

恩納村のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された令和5年度のごみ量は、前年度と比較して増加しています。村民1人当たりのごみ処理に係る経費が多額でありますので、より一層恩納村が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

1. 令和5年度ごみ処理経費

経費区分	金額	村民1人当たり年間負担金額	1世帯当たり年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費	2,832万円	2,515円	4,743円
負担金	ごみ処理経費	1億7,676万円	15,697円
	最終処分費	492万円	437円
ごみ処理総事業費	2億1,000万円 (1億9,076万円)	18,649円 (16,920円)	35,170円 (32,527円)



リサイクルリンちゃん

※()内の数値は令和4年度実績です。

2. ごみ搬入量

ごみの種類	令和4年度	令和5年度	前年度比較	村民1人当たり1日の排出量	1世帯当たり1日の排出量	
可燃ごみ	5,451 トン	5,709 トン	258 トン	1,385.2 ㍉	2,612.4 ㍉	
不燃ごみ	137 トン	144 トン	7 トン	34.9 ㍉	65.9 ㍉	
粗大ごみ	111 トン	102 トン	-9 トン	24.8 ㍉	46.7 ㍉	
資源ごみ	缶類	71 トン	73 トン	2 トン	17.7 ㍉	33.4 ㍉
	びん類	310 トン	294 トン	-16 トン	71.3 ㍉	134.5 ㍉
	ペットボトル	102 トン	98 トン	-4 トン	23.8 ㍉	44.8 ㍉
	古紙類	93 トン	92 トン	-1 トン	22.3 ㍉	42.1 ㍉
合計	6,275 トン	6,512 トン	237 トン	1,580.0 ㍉	2,979.8 ㍉	

3. 資源化量

種類	令和4年度	令和5年度	前年度比較
缶類	61 トン	69 トン	8 トン
金属類	73 トン	74 トン	1 トン
びん類	295 トン	283 トン	-12 トン
ペットボトル	92 トン	93 トン	1 トン
古紙類	70 トン	77 トン	7 トン
古布類	1 トン	1 トン	0 トン
蛍光管	3 トン	3 トン	0 トン
乾電池	4 トン	6 トン	2 トン
スラッグ	360 トン	392 トン	32 トン
メタル	6 トン	7 トン	1 トン
合計	965 トン	1,005 トン	40 トン

※令和6年3月末の人口11,261人、世帯数5,971世帯、令和5年3月末の人口11,275人、世帯数5,865世帯です。

※端数処理をしているため、数値が一致しない場合があります。

※資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破砕・分別して出てきたものです。

※資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

※負担金とは、ごみ処理事業を行うために必要な経費を恩納村から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

4. 最終処分量

種類	令和4年度	令和5年度	前年度比較
飛灰	187 トン	197 トン	10 トン

お問い合わせ：中部北環境施設組合 ☎972-6619

ごみを減らす 4R運動を実践しよう。

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。そこでごみを減らす4つのRを心がけて、環境にやさしく、大切な資源として活かす取り組みを始め、ごみ減量へのご協力をお願いします。

1 リフューズのR ▶ ごみを持ち込まない。

- 不用品は買わない、貰わない。
- ごみになる物は断る。
- マイバッグを持参しよう。

3 リユースのR ▶ 再使用する。

- 使えるよう修理してみる。
- 別の使い方を考える。
- 欲しい人にゆずる。

2 リデュースのR ▶ ごみを減らす。

- 必要なものを必要な量だけ購入する。
- 食品を買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない。
- 生ごみは十分な水切りをする。(生ごみの約8割は水分)

4 リサイクルのR ▶ 再利用する。

- 資源を正しく分別する。
- 買ったお店で回収ボックスを利用する。
- 生ごみを堆肥にする。